

第7回

明石市上下水道事業経営審議会

2026年（令和8年）1月26日



審議会の流れ

第6回審議会

料金表（案）、経営戦略の検討

- ・ 審議会が答申する料金表（案）
- ・ 次期経営戦略の骨子



第7回審議会

料金表（案）、
経営戦略、答申の検討

- ・ 水道料金体系の決定
- ・ 次期経営戦略、答申の素案



第8回審議会

経営戦略・答申

- ・ 経営戦略、答申書の作成



本日の議題

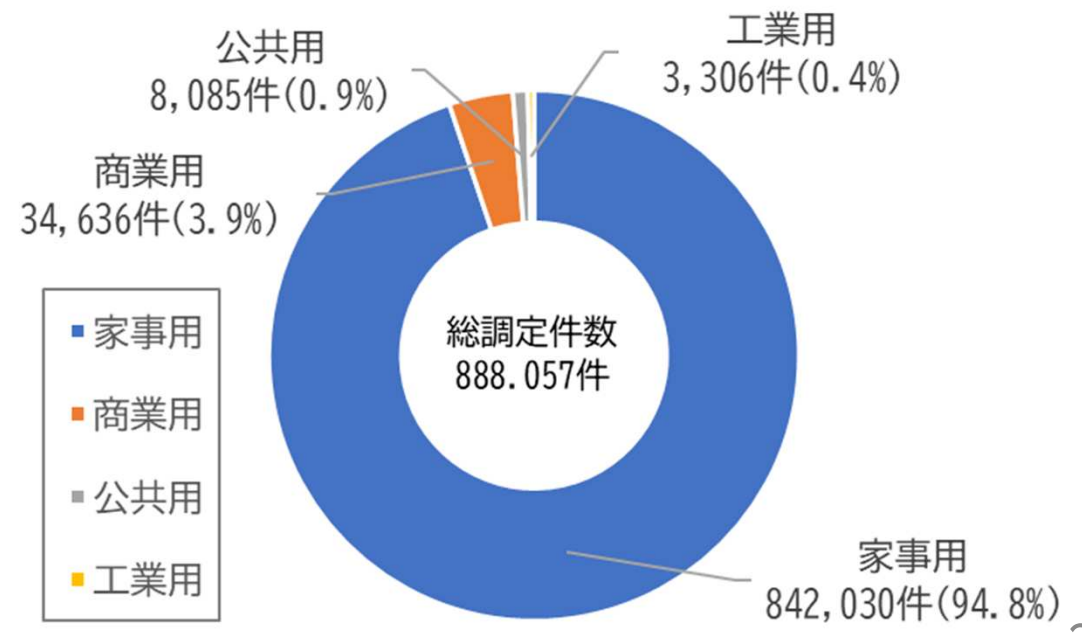
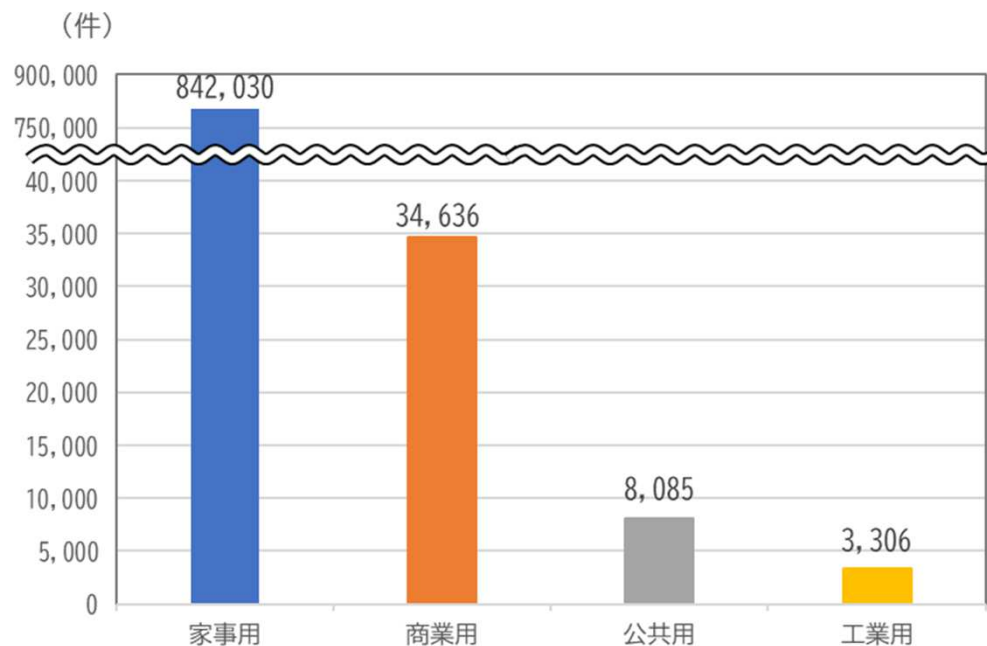
- 1 第6回審議会での要求資料の提示
- 2 料金表（案）
- 3 次期経営戦略（素案）
- 4 答申（素案）
- 5 その他



1 第6回審議会での要求資料の提示

(1) R5調定件数のうち、家事用・業務用などの内訳資料

- ✓ 家事用・・・住宅、共同住宅など
- ✓ 商業用・・・飲食店、事務所、物品販売、宿泊施設など
- ✓ 公共用・・・官公庁、学校、病院、公園など
- ✓ 工業用・・・食料品、電気機械の工場など



2 料金表（案）

（１）基本料金案（第６回決定）

設定した３案により得られた基本料金

基本料金（税抜、1ヵ月あたり）

用途	メーター口径	現行	案①	案②	案③
一般用 湯屋用 工事用	25mm以下	870	970 (+100)	990 (+120)	1,010 (+140)
	40mm	4,070	5,820 (+1,750)	5,430 (+1,360)	4,690 (+620)
	50mm	8,550	15,880 (+7,330)	13,170 (+4,620)	11,450 (+2,900)
	75mm	15,870	30,110 (+14,240)	26,580 (+10,710)	19,870 (+4,000)
	100mm	24,930	72,210 (+47,280)	51,850 (+26,920)	34,760 (+9,830)
	150mm	52,940	236,630 (+183,690)	135,230 (+82,290)	75,960 (+23,020)

※ 基本料金は10円単位で切り上げして設定

※ いずれの案も、あるべき姿の基本料金19.1億円/年は確保

（２）従量料金案の再検討

- ✓ 調定件数比率ではなく、有収水量比率で単価を設定すべきではないか。
- ✓ 案Aは、少量使用者に配慮されているが、一般家庭（ボリュームゾーン）への影響が大きい。
- ✓ 案Cは、既に県下平均より高い多量使用者に配慮されているが、少量使用者の改定率が高くなる。

案A, 案Cの従量料金

従量料金（税抜、1ヵ月あたり、1m³につき）

用途	使用水量	現行	案A (5区分)	案C (4区分)
一般用 全口径	～5	0	26 (+26)	52 (+52)
	6～10	10	60 (+50)	52 (+42)
	11～20	139	149 (+10)	141 (+2)
	21～30	191	236 (+45)	228 (+37)
	31～50	254	(+23)	(+15)
	51～2,500	274	277 (+3)	269 (-5)
	2,501～	291	(-14)	(-22)
湯屋用	1m³につき	75	75 (-)	75 (-)
工事用	1m³につき	660	660 (-)	660 (-)

※ 現行は25mm以下の単価

※ いずれの案も、あるべき姿の従量料金40.8億円/年は確保

2 料金表（案）

（3）従量料金の再設定

【将来的に目指すべき**水量区分**】

- ✓ 「水道料金算定要領」では、均一料金制が原則で、**あるべき姿は1区分**である。
- ✓ しかしながら、一般世帯や業務用などの使用実態に応じて、**一定数の水量区分を設定すべき**と考える。



本市の使用実態から、
目指すべき区分数を**3区分**に設定

- ① **少量使用帯（0～10m³）**：生活に最低限必要な使用水量帯
※0～5m³と6～10m³は使用実態が同等のため、区分を統合
- ② **一般世帯（11～40m³）**：一般的な使用水量帯
- ③ **業務用等（41m³以上）**：業務用等の多量使用水量帯

世帯人員別の1か月あたりの平均使用水量

世帯人員	使用水量	世帯人員	使用水量
1人	8m ³	4人	23m ³
2人	15m ³	5人	28m ³
3人	20m ³	6人以上	34m ³

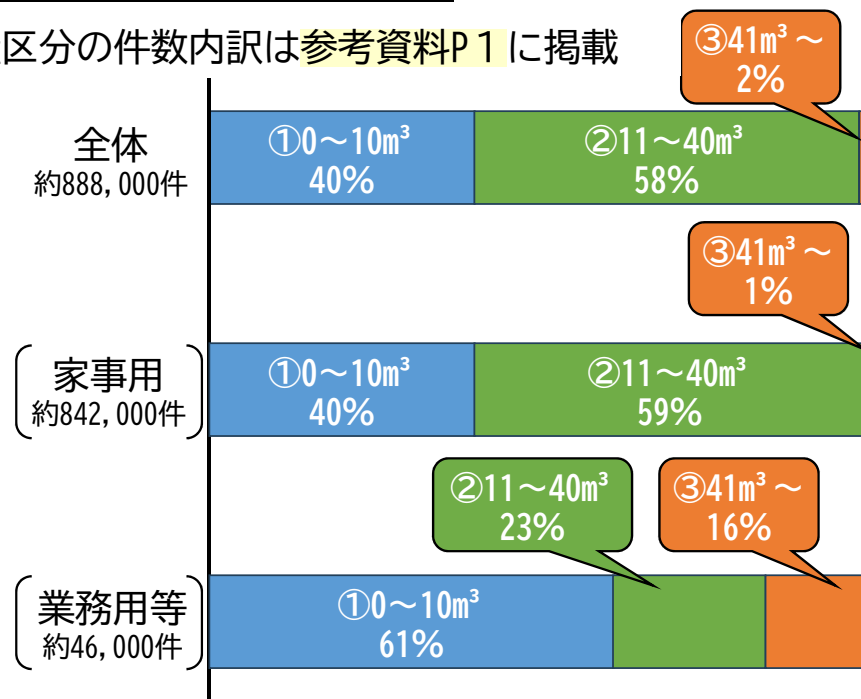
出典：東京都水道局
令和2年度生活用水実態調査

現行の水量区分
7区分

現行水量区分(25mm)	現行従量料金
～5m ³	0円
6～10m ³	10円
11～20m ³	139円
21～30m ³	191円
31～50m ³	254円
51～2,500m ³	274円
2,501m ³ ～	291円

水量区分別に占める調定件数割合

⇒各水量区分の件数内訳は参考資料P1に掲載



2 料金表（案）

（３）従量料金の再設定

【将来的に目指すべき各区分の単価】 → 有収水量比率案

			98%						
調定件数割合→			①少量使用帯 39%		②一般世帯 59%			③業務用等 2%	
水量区分(m3)			0～5	6～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～
4年間有収水量(m3)			31,257,721	25,189,143	30,726,015	10,099,971	2,608,187	1,013,067	21,712,790
有収水量比率	0～10	46.0%	61	61	61	61	61	61	61
	11～40	35.5%			87	87	87	87	87
	41～	18.5%						133	133
改定案単価(円)①			61	61	148	148	148	281	281
現行単価(円)②			0	10	139	191	254	254	※274→291
単価差額(円)①-②			+61	+51	+9	-43	-106	+27	+7→-10

現行より極端に高い！

現行より極端に安い！

※現行

51～2500m³ : 274円

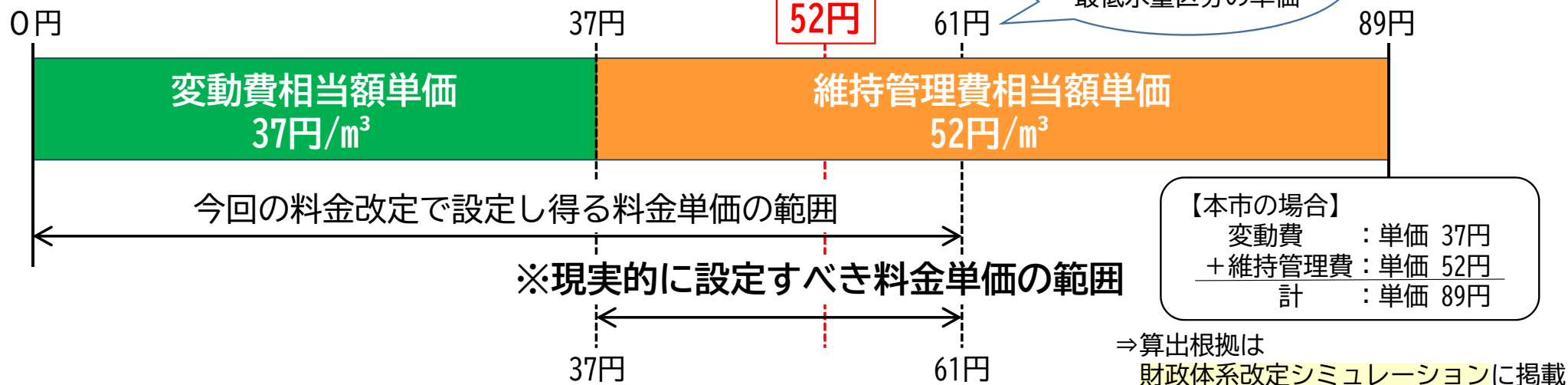
2501m³～ : 291円

☞ 現行からの激変緩和を考慮した補正案を比較・検討

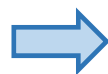
2 料金表（案）

（3）従量料金の再設定（激変緩和を考慮）

【最低水量区分（0～10m³）の単価】



- ✓ 「水道料金改定業務の手引き」には、『最低水量区分では少なくとも変動費＋維持管理費（89円/m³）は少量使用者からも確実に回収すべき』とあるが、激変緩和を考慮し、**可能な限り低廉な価格**とする。
- ✓ 動力費などの**変動費**は全額水量料金に配賦される費用であるから、**全ての使用者に負担**を求めるものとする。
※ 変動費 37円/m³ と、有収水量比率案3区分 61円/m³ の間で設定すべきと考える。
- ✓ 第6回審議会で提示した「調定件数比率」の案Cに加え、維持管理費相当額単価も参考にする。



繰り返し試算を行い、全体的なバランスを考慮して**52円/m³に設定**

2 料金表（案）

（3）従量料金の再設定（激変緩和を考慮）

【水量区分の数】

- 補正①： 21～40m³の単価が現行より極端に安い → 11～20m³、21～30m³、31～40m³に分割（5区分）
- 補正②： 31～40m³と41～50m³に単価の差が生じる → 補正①に対し、現行に合わせ31～50m³を統合（5区分）
- 補正③： 補正②では区分数が5区分と多い → 補正②に対し、11～30m³を統合（4区分）

従量料金(税抜、1ヵ月あたり、1m ³ につき)										
用途	使用水量	現行	有収水量比率案		有収水量比率案 補正①		有収水量比率案 補正②		有収水量比率案 補正③	
一般用 全口径	～5	0	61	(+61)	52	(+52)	52	(+52)	52	(+52)
	6～10	10		(+51)		(+42)		(+42)		(+42)
	11～20	139		(+9)	141	(+2)	141	(+2)	148	(+9)
	21～30	191	148	(-43)	192	(+1)	192	(+1)		(-43)
	31～40	254		(-106)	255	(+1)	261	(+7)	265	(+11)
	41～50			(+27)		(+27)				(+7)
	51～2,500	274	281	(+7)	281	(+7)	281	(+7)	291	(+17)
	2,501～	291		(-10)		(-10)	281	(-10)		(±0)

補正①～③の
最低水量区分
の単価は
52円/m³で設定

将来的な水量区分
を考慮して、
補正①で
検討を進めたい。

2 料金表（案）

⇒料金表(案)の他事業体比較は
参考資料P2～9に掲載

（４）妥当性の確認（評価）

※ いずれの案も、あるべき姿の59.9億円/年（全体改定率21％）は確保

決定した基本料金と4案の従量料金を適用した場合の使用水量別水道料金（税抜、1ヵ月あたり、円）

メーター 口径	使用水量 (m ³)	現行料金 (円)	有収水量比率案			補正①			補正②			補正③		
			料金	対現行比		料金	対現行比		料金	対現行比		料金	対現行比	
25mm以下	5	870	1,295	(+425)	149%	1,250	(+380)	144%	1,250	(+380)	144%	1,250	(+380)	144%
	10	920	1,600	(+680)	174%	1,510	(+590)	164%	1,510	(+590)	164%	1,510	(+590)	164%
	20	2,310	3,080	(+770)	133%	2,920	(+610)	126%	2,920	(+610)	126%	2,990	(+680)	129%
	30	4,220	4,560	(+340)	108%	4,840	(+620)	115%	4,840	(+620)	115%	4,470	(+250)	106%
	40	6,760	6,040	(-720)	89%	7,390	(+630)	109%	7,450	(+690)	110%	7,120	(+360)	105%
	50	9,300	8,850	(-450)	95%	10,200	(+900)	110%	10,060	(+760)	108%	9,770	(+470)	105%
40mm	170	46,720	47,010	(+290)	101%	48,360	(+1,640)	104%	48,220	(+1,500)	103%	49,130	(+2,410)	105%
50mm	360	103,260	108,140	(+4,880)	105%	109,490	(+6,230)	106%	109,350	(+6,090)	106%	112,160	(+8,900)	109%
75mm	850	244,840	259,240	(+14,400)	106%	260,590	(+15,750)	106%	260,450	(+15,610)	106%	268,160	(+23,320)	110%
100mm	2,230	632,020	672,290	(+40,270)	106%	673,640	(+41,620)	107%	673,500	(+41,480)	107%	695,010	(+62,990)	110%
150mm	8,500	2,480,010	2,517,540	(+37,530)	102%	2,518,890	(+38,880)	102%	2,518,750	(+38,740)	102%	2,602,960	(+122,950)	105%

- ✓ 有収水量比率案：他案と比べて少量使用者が高額となり、現行より安価となる水量帯（約35～100m³）がある。
- ✓ 補正①と②：両案を比較して、大きく金額は変わらない。
- ✓ 補正③：最高単価が291円/m³と最も高額であるため、他案と比べて多量使用者が高額となる。

2 料金表（案）

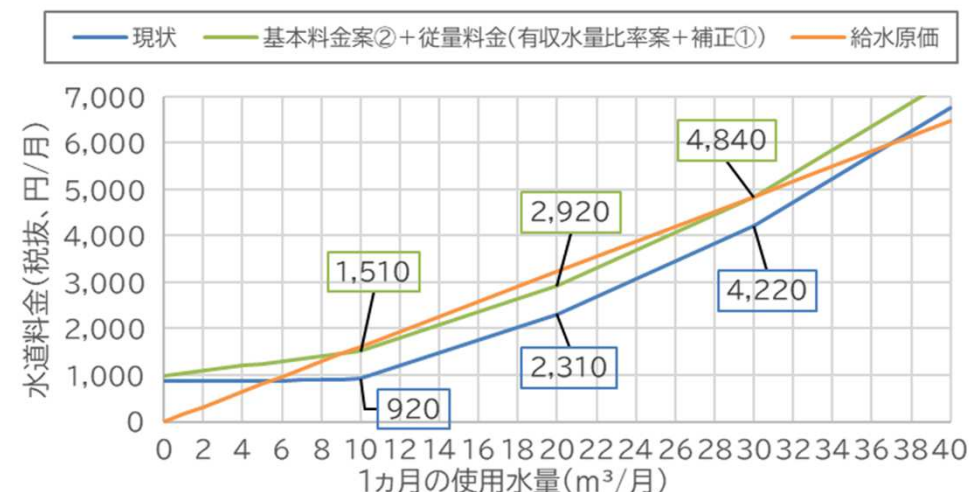
（４）妥当性の確認（評価）

「基本料金案②＋従量料金（有収水量比率案＋補正①）」の各種指標について

- ✓ 基本水量の有無：現行設定している**基本水量は廃止**
- ✓ 基本料金の割合：財政シミュレーションで算出したとおり、**基本料金割合は31.9%**
- ✓ 逓増度：現行の3.16に対し、**1.86**に改善
（中核市平均は2.1：第2回審議会で提示）
- ✓ 原価割れの把握：**原価割れの状況は大幅に緩和**（右図参照）



各種課題を改善しており、
「**基本料金案②＋従量料金（有収水量比率案＋補正①）**」
を採用したい。



原価割れ状況の把握

3 次期経営戦略（素案）

（1）目次構成

- 1 経営戦略の策定趣旨と位置付け
- 2 水道事業の課題と前回の経営戦略の総括
- 3 総括に基づく課題のまとめ
- 4 基本理念と方向性
- 5 投資計画
- 6 財政計画
- 7 行動計画のもととなる基本方針及び施策目標
- 8 フォローアップ
- 9 資料編

※ 別添の
「明石市水道事業経営戦略（素案）」
にて説明いたします。

4 答申（素案）

（１）構成

- 1 はじめに
- 2 経営基盤の強化策
 - （１）料金改定時期、（２）料金改定率、（３）料金体系
- 3 明石市水道事業経営戦略
 - （１）【安定給水】水源転換による安定水源の確保
 - （２）【コスト抑制】実現性を有しコスト抑制につながる計画的管路更新
 - （３）【健全経営】安定的に料金収入が確保できるスキームの構築
- 4 その他
 - （１）利用者への周知、（２）生活弱者への配慮、
 - （３）持続可能な経営改善、（４）目指すべき料金体系
- 5 さいごに

※ 別添の

「明石市水道事業の経営基盤の強化及び次期明石市水道事業経営戦略の策定について（答申）」にて説明いたします。

5 その他

(2) 第8回 明石市上下水道事業経営審議会について



【開催日】令和8年2月25日（水）

【開催時間】14：00～16：00

【開催場所】兵庫県水産会館4階 第5会議室

【審議内容】次期水道事業経営戦略（案）

答申（案）

Akashi

